

一般質問通告書

受領日時 令和5年8月28日 午前11時00分

9番 氏名 齋藤 晋

質問項目	質問の要旨
1、災害関連について	<p>(1)役場職員の避難訓練を</p> <ul style="list-style-type: none">・避難所開設を町が判断し、職員を避難所に派遣するが、派遣された職員が避難所の避難用具・非常食などの収納箇所すら把握していない事例が今回の災害で有った。町民の避難訓練の前に職員の避難訓練を徹底すべき。 <p>(2)災害時の給水車・給水タンク・給水容器（袋等）の準備を</p> <ul style="list-style-type: none">・今回の災害で断水し、あちこちの自治体より給水車の応援が有り、町民は大いに助かった。水の大切さを実感した今、給水車・大型給水タンクを常備し、容器が無く鍋ややかんを持参し水をもらいに来た人などのため、10リットルや5リットルの水を持ち運べるビニール袋を準備すべき。 <p>(3)補助金の支給を早くしてくれ、との声があちこちから聞こえる。年金生活で床上浸水の被害を受けた人から、「一階の家財は全部だめになった。冷蔵庫・電気釜・テレビ・洗濯機など、金も無い・米も無い復旧など何もできない、補助金や見舞金の支給を早くして」との年寄りの声を聴いた、近くにコンビニが有るので、少ない金の中からパンを買ってパンだけ食べているとの事でした。基本に忠実に・法律に忠実にですが、少しでも早く被災者に補助金・見舞金などが渡るようにすべきだ。</p> <p>(4)国県の補助金はその書類この書類など、また、確認・検査など時間がかかる。町の独自の補助金を作りいち早く被災町民に支給すれば、どんなに喜ぶことだろうか。それも、早く多く支給すればより喜ぶ。町長の考えはどうか。</p> <p>(5)浸水被害にあった空き家をどうするか</p> <ul style="list-style-type: none">・浸水被害に遭った復旧手つかずの空き家が多くある、このままでは腐敗が進み倒壊の危険が有る。町はどうするのか。

2、防災・減災について これからの町について

(1)洪水が発生した馬場目川・富津内川・内川をどうするのか・県の管轄であるが町民が苦しむ災害を防ぐため町が動かなければ変わらない。

*農業・漁業・林業の観点も掘り下げて答えを求める。

(2)命の素である「水」が今回一週間以上断水した。浄水場の浸水が原因である。この浄水場を今後どのようにするか、長期の計画をも含めて回答を求める。

(3)今回の災害の多くは、内水氾濫が大きいとの話を聞く。磯ノ目地区・曙町などなど、内水氾濫を原因とする浸水災害を防ぐため、今後どうすれば良いか町の長期の計画も含めて答えを求める。

(4)保水力が少ない杉の森林は、伐採のため道を作り、雨の度に泥を大量に川に流す。町として防災減災の観点から、町の森林をどのようにすべきか長期計画も含めた回答を求める。

(5)戸村堰・真崎堰からの越水による浸水も多く、今後の課題にもなるが、川からの水門は閉めて対処したが、水は川からだけではない。堰に集まる水は低い所低い所へ流れる。結局この二つの堰に集中する。内水氾濫を防ぐことにも繋がるが、二つの堰をどう改良すべきか、管轄が違うが町民の財産・命を守る観点から町の考えを問う。